

SEIGAIHA

新潟産業大学報 青海波

NIIGATA SANGYO UNIVERSITY

2024 vol.38

特集

快学!

新潟の球史に新たな1ページ!

新潟産業大学附属高校野球部

県大会初優勝・甲子園初勝利!

1

本学の「教育改革」・「経営改革」

2

CAMPUS TOPICS

3

在学生・卒業生の活躍

4

部活動・サークル活動

5

授業紹介

6

地域とのつながり

7

図書館だより

8

ネットの大学managara

9

サンチャッカル通信

10

INFORMATION

11



新潟産業大学

Niigata Sangyo University



快挙！新潟の球史に新たな一ページ！

新潟産業大学附属高校野球部 県大会初優勝・甲子園初勝利！

第一〇六回全国高校野球選手権新潟大会において、新潟産業大学附属高等学校野球部が見事初優勝に輝きました。さらに全国大会でも初戦で埼玉の花咲徳栄高校を破り、甲子園初勝利を挙げました。



初優勝！歓喜の瞬間

県大会では、初戦を六日町高校に9対1で勝利すると、新潟明訓高校、村上桜ヶ丘高校、日本文理高校、中越高校と県内の強豪校を次々に撃破。一戦ごとに自信と成長を積み重ね、勝ち進んでいきました。

そして7月26日（金）に迎えた決勝、帝京長岡高校戦。相手のエースピッチャーから、中村心虹君の先制適時三塁打などで4点を奪い、守っては先発の宮田塁翔君から田中拓朗君への必勝リレーで反撃をかわし4対2で勝利！見事ノーシードからの初優勝を成し遂げました。

産附ナインは甲子園でも粘りの野球を貫きました。8月9日（金）の1回戦では、埼玉県代表の強豪、花咲徳栄高校と対戦。試合には全校生徒や保護者に加え、柏崎市内の高校生、産大吹奏楽部と一般の方で結成された吹奏楽団「チーム柏崎」も駆けつけました。この演奏に乗せた大応援の後押しを受けて、試合は2対1で競り勝ち、記念すべき甲子園初勝利を挙げました。これは新潟県勢としても7年ぶりとなる甲子園での勝利でした。



甲子園出場を前に柏崎市長を表敬訪問

2回戦では京都国際高校と対戦。試合は中盤まで両チームが譲らない息を呑む展開でしたが、最後は惜しくも0



2-1で甲子園初勝利！

新潟産業大学の「教育改革」および「経営改革」

副学長 住吉 廣行

(1) 教育内容と教育手法の改革

新潟産業大学は、2022年度から大学改革を進めています。2023年度から「基礎ゼミナール」をモデルチェンジし、教員の他に職員や学生も授業担当者に取り込み、新入生が大学生活に慣れ、何でも相談できる体制づくりを目指しました。また2025年4月に向け、大胆な教育改革を進めています。その内容は二つです。

(a) コース制で学修内容の「見える化」

一つは2学科6コース制への転換です。コースごとに「何を学び」「どんな力を身につけ」「社会へ出てどの分野で活躍するのか」を、「受験生に向け判断材料を提供」「見える化」します。

これは本学最大の経営課題である、入学定員を満たすための、新しい学生層開拓を意識した改編でもあります。

(b) 「課題解決型能力育成」に向けて

もう一つは教育手法です。現在強く要請される「課題解決型能力育成」に向けた教育です。「どうしたらよいか困っていること（未知）」を「こうすれば解決できる（既知）」のように、「未知」を「既知」に変える課題解決のプロセスで、これは研究活動そのものです。「課

(2) 地域連携推進の必然性

本学は「地域に学び、地域をおこす」をモットーに、地域連携を重視しています。

「地域社会は「課題」と「人材」の宝庫」

地域社会は「課題」の宝庫でもあります。学生の成長を促す学びのフィールドです。地域には、学生も身近に感じる矛盾や改善すべき点が豊富にあります。「何故そうなのか」「理由を知りたい」「自分（たち）の力で何とかしたい」。こうして学生には「課題意識」が芽生えます。

その後の展開では、学生は地域の「人材」の問題意識からも大いに学び、意見交換し、多様なレベルでの対策に協働で取り組んでいきます。

二つの要素をもつ本学の大学改革は、「コース制により『地域課題の多様な課題に対応する学びを用意』し、『地域の力に依拠し学生と一緒に育てる』手法を探る」という表現に集約できます。

【地(知)の拠点(COC)としての大学】

地域社会で存在感のある大学であることが、学生募集につながる「経営力強化」の大きな要素です。産官学民挙げての協力体制で、若者が育



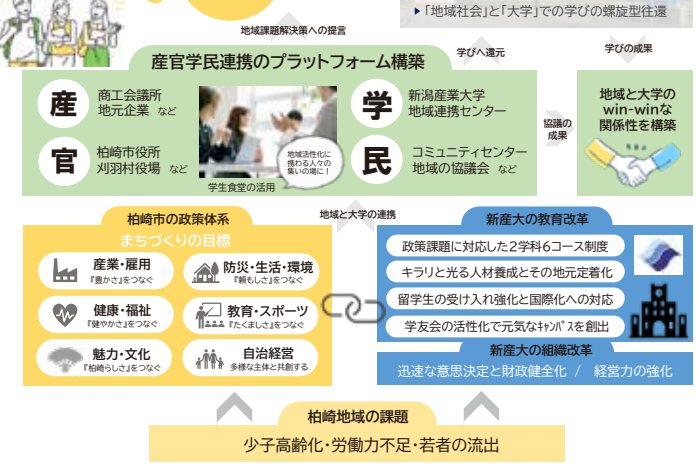
柏崎市コミュニティ推進協議会との連携協定調印式
横田誠一協議会会長と本学梅比良眞史学長

ち、定着する地域社会を創り上げ、人口減少・若者流出という困難な課題に、総力挙げて取り組みます。

こうした視点で、本学の春日俊雄客員教授の紹介で、柏崎市、県教委、校長会、県内地域高校、企業などを旺盛に訪問し、懇親を深めてきました。その中で、趣旨に賛同くださった柏崎市コミュニティ推進協議会とも協定を結ぶことができました。

(3) 文部科学省「地方大学改革支援」に応募

本学が改革を進めるのと時を同じくして、文部科学省は、地方小規模大学を対象に、略称「キラリと光る教育力」という経営改革支援策を打ち出



文部科学省に提出した本取組の概念図

ぎおん柏崎まつり「たる仁和賀パレード」に参加

7月25日（木）、柏崎市夏の一大イベントである、ぎおん柏崎まつり「たる仁和賀パレード」が開催されました。昨年に続き本学も参加し、産大みこしを担いで市内「えんま通り」を練り歩きました。

本学からは、水球部、サッカー部、陸上競技部、空手道部、卓球部の運動部に所属する学生が中心となってみこしを担ぎ、若さ溢れる「わっしょい！」



53基のみこしが練り歩きました

の大きな掛け声で会場を沸かせました。他の参加団体の方々から「元気があって良いね」と声をかけられることが多くあり、学生たちがその声に笑顔で応える様子が印象的でした。

また、翌日には本学附属高校野球部が新潟県大会の決勝戦を控えていたこともあり、附属高校ののぼりを目にした市民の方からたくさんの激励の言葉もいただきました。

本部前での口上を務めた宮越妃由さん（文化経済学科1年）は、「今年初めてぎおん柏崎祭りに参加しました。学生代表として口上を務めさせていただき、貴重な経験をすることができました。」

来年はさらに柏崎と産大を盛り上げられるよう、私自身も全力で楽しみたいです」と初の大役を元氣いっぱい振り返りました。

翌日の花火大会とともに、年に一度、



口上を述べる宮越さん

柏崎が最も盛り上がる「ぎおん柏崎まつり」。地域に根差した大学として、本学と地域の皆さまとの連携がより深まる一日となりました。

2024年 パリ五輪

男子水球で卒業生が出場！

7月27日（土）から8月11日（日）にかけて、フランスのパリにて第33回オリンピック競技大会が行われました。男子水球では、本学卒業生の稲場悠介選手（2022年度卒業）、新田一景選手（2020年度卒業）、水球部コーチの棚村克行選手の3名が日本代表選手として出場しました。

大会に先立ち、5月10日（金）に柏崎市民センターまちからで記者会見が行われ、棚村選手とオンライン参加で新田、稲場両選手が出席しました。



左から 棚村選手、稲場選手、新田選手

会見で稲場選手は、「まずはベスト8を目標に、メダルの獲得を目指します。個人としては得点を量産して賞も狙っていききたいと思います」と力強く語りました。

そして迎えた本番。結果は惜しくも予選敗退となりましたが、稲場選手は抱負のとおり、全試合を通してチーム最多となる21得点をあげる成績を収めました。

10月には、地元柏崎で第100回日本選手権大会も開催されます。選手はそれぞれ次の目標に向かって進んでいます。



大会戦績

VS セルビア	15
VS フランス	16
VS ハンガリー	14
VS スペイン	13
VS オーストラリア	8
VS	10
VS	13
VS	23

「選手からの一言」

新田一景 選手

パリ五輪ではたくさんの応援ありがとうございました。今年は柏崎で日本選手権が開催されます。応援のほどよろしく願います。

棚村克行 選手

新潟産業大学のみなさんパリ五輪の応援ありがとうございました。10月には日本選手権が柏崎で開催されます。皆さんぜひ応援に来てください。

吹奏楽部

甲子園で応援演奏



田中夢翔さん

地域活性学会
第16回研究大会で
奨励賞を受賞

9月7日（土）・8日（日）名古屋市立大学滝子キャンパスにて開催された「地域活性学会第16回研究大会」において、本学学生と卒業生が奨励賞を受賞しました。

今回受賞をしたのは、村上翔琉さん（経済経営学科4年）と奥野飛龍さん（2023年度経済経営学科卒業）です。発表論題は、「柏崎市西山町における道の駅を活用した買い物難民・子育て世代支援策の提言」で、多くの研究者が出席する中、研究成果を堂々と発表し、見事受賞の栄誉に浴しました。お二人の今後さらなる活躍に期待します。



左が村上さん、右が奥野さん



平井創大さん

甲子園球場開場100周年となった記念すべき夏の高校野球選手権大会に、新潟県代表として附属高校が初出場しました。

試合に際し、柏崎市内の高校生と市民による吹奏楽団「オール柏崎」が結成され、1回戦、2回戦と甲子園へ応援に駆けつけました。

快晴のアルプススタンド応援席にどっかりと陣取った「オール柏崎」。その中には本学吹奏楽部の平井創大さん（文化経済学科3年）と田中夢翔さん（経済経営学科2年）もメンバーとして参加。猛暑をものともしない大迫力の演奏を披露しました。

現地でも素晴らしい応援だったと高い評価を受け、本人たちも「大舞台で演奏する夢が叶った！」と充実した笑顔で語ってくれました。

産大吹奏楽部では部員を募集しています。初心者でも大歓迎！一緒に気持ちよく音を出してみませんか？

部活動・サークル活動紹介

陸上競技部 北日本インカレ出場

陸上競技部は、今年度5名の新入部員が加わり、7名で活動しています。
6月1日(土) 2日(日)には、富山総合運動公園陸上競技場で行われた第98回北信越学生陸上競技対校選手権大会に出場しました。その中で、女子100mハードルに出場した松本愛美選手(文化経済学科3年)が3位に、男子走幅跳に出場した矢代珀選手(文化経済学科1年)も3位になり表彰台に立ちました。



松本選手は、第46回北日本学生陸上競技対校選手権大会(北日本インカレ・於石川県西部緑地公園陸上競技場)に出場。惜しくも予選敗退となりましたが、今後更なる活躍に期待します。

水球部 インカレ出場

男子水球部は6月の中部学生選手権を勝ち抜き、8月28日(水)から31日(土)の4日間、東京2020五輪の水泳競技会場となった東京アクアティクスセンターにて全日本学生選手権に出場しました。結果は初戦で明治大学に惜敗も、今後に期待の持てる内容でした。



女子水球部では、9月9日(月)から12日(木)の4日間、佐賀県で開催される第78回国民スポーツ大会(水球)競技会に新潟県代表として、前野美月選手(経済経営学科4年)と栗林陽華選手(経済経営学科3年)が出場しました。

サッカー部 北信越大学サッカーリーグ

サッカー部は、北信越大学サッカーリーグの1部リーグに所属し、今シーズンも熱戦を繰り広げています。
4月から10月まで8校によるリーグ戦もいよいよ大詰めを迎えています。(9月10日現在、5勝5敗で8チーム中4位)

同時に、インディペンデンスリーグ戦でも信越地区でのチャンピオンを目指して健闘しています。
1部リーグの試合は、週末に行われています。産大サッカー部への応援よろしくお願いします！



空手道部 全日本学生選手権出場



5月19日(日)、第50回北信越学生空手道選手権大会において、形個人戦男子部門で小川虎太郎選手(経済経営学科4年)が見事優勝しました。また川野春哉選手(経済経営学科1年)も準優勝し、共に表彰台に上がりました。
二人は北信越代表として、7月6日(土)・7日(日)に姫路市で行われた第68回全日本学生空手道選手権大会に出場しました。

空手道部は、今期は女子部員も加わり、少人数ながら元気に活動しています。部員も募集中です。初心者も歓迎ですので、体を鍛えたい人は是非！

授業紹介

「博物館学芸員課程」

教授 片岡 直樹

学芸員とは博物館や美術館などに勤める専門職員のことです。博物館や美術館ではさまざまな資料の収集・保管・展示・調査研究がなされていますが、そのための専門的な知識と技術を身につけているのが学芸員です。

学芸員の資格は博物館法に規定があり、取得には国家試験に合格する方法と大学の課程で所定の単位を修得する方法とがあります。本学には資格取得のための科目群が設置されており、これを「博物館学芸員課程」といいます。

これまで本学では家に掛軸や古美術品があるという学生、幅広い教養を身につけたいという学生の多くが資格を取得してきました。また、毎年のように30〜60代の社会人の方々が参加され、学生らとともに学芸員の資格を取得されています。

資格を取得するには必修科目9科目と選択必修科目9科目のうち4科目の単位を修得し、大学を卒業していることが必要で、課程修了者には「学芸員資格証明書」が交付されます。

この課程の大きな特色は必修科目の一つに学内実習と学外実習からなる「博物館実習」が組み込まれていることです。このうち学内実習では仏像・

絵巻物・掛軸・民具などの実物を使って正しい取り扱い方を学ぶほか、梱包の仕方や拓本などの指導を受けます。

学外実習では7〜9月の7〜10日間ほど学外の博物館や美術館に通い、現場の学芸員の先生に実務を学びます。実習先は柏崎市立博物館の協力を得ているほか、受講生の希望に応じて東京や九州を含む県内外の館に受け入れをお願いしてきました。

じつさに学芸員となる学生はまだまだ少ないですが、戦争や経済優先による文化財の危機が叫ばれる昨今、文化財を深く理解し、これを慈しむ心を持った「市民学芸員」の養成もまた、われわれの大切な責務と考えます。

皆さんも新潟産業大学で学び、学芸員の資格を取得してみませんか!!



博物館実習中の澤井さん

【学生のコメント】

澤井ほのかさん(文化経済学科4年)
大学生活でしか体験できないことに挑戦したいと思い、学芸員課程を履修しました。特に印象深いのは、博物館実習です。他の実習生たちと協力して

楽しみながら多くのことを学べ、とても貴重な経験ができました。

「地域経済学」

助教 澁谷 朋樹

グローバル化が進展する中で、地域経済の実態も目まぐるしく変化しています。「地域経済学」の講義では、基礎的な理論はもちろんのこと、各種統計の分析を通じて各地域における課題を明らかにしています。その上で、地域づくりの事例についても学んでいます。

近年、地域経済で注目すべきトピックスのひとつとして、観光産業が挙げられます。地域創生でも観光は柱とされていますが、最近では個人や少人数グループでの旅行が中心になっていきます。そこでは多種多様なニーズが生まれている、観光スタイルでは映画やドラマ、アニメ、文学などの作品ゆかりの地を訪問する「コンテンツツーリズム」が注目されています。特に、アニメ関連のものは「アニメ聖地巡礼」と呼ばれ、国内のみならず外国人旅行者の訪日目的にもなっています。このような動向が地域経済に与えるインパクトはとても大きく、学問的側面からいえば地域経済学でも関連する研究の蓄積がなされてきています。

地域経済を持続的に活性化させるためには、こうした時代に即した情勢の変化についても学んでいくことが必要

不可欠です。本講義は、新たな情報を常に取り入れながら、皆さんとともに地域経済の実態を把握した上で、その地域の振興策を学術的に考えていくための力を養っていくことを目的としています。



これまで青海波では、先生方のおすすめ本を紹介してきました。
今回は特別編ということで、新潟産業大学の職員が朝礼の中で取り上げたおすすめの本を紹介してみたいと思います。
幼い頃に読んだ本、子どもと一緒に読んだ本、自己啓発のための本、関心がある分野の本、好きな物語など
普段、事務室で黙々とデスクワークをしている職員ですが、おすすめの本で人柄が伝わりましたら幸いです。

産大職員のおすすめ本

小説

- ★ 汝、星のごとく
- ★ 准教授・高槻彰良の推察
- ★ 流星ワゴン
- ★ 博士の愛した数式
- ★ アルジャーノンに花束を
- ★ 成瀬は天下を取りにいく
- ★ ミッキーマウスの憂鬱
- ★ グレート・ギャツビー
- ★ 峠
- ★ ボックス!
- ★ そして、バトンは渡された
- ★ シャーロック・ホームズの事件簿
- ★ シャーロック・ホームズの帰還
- ★ 下町ロケット
- ★ 陸王
- ★ 源氏物語



ノンフィクション

- ★ もの食う人びと
- ★ 殺人犯はそこにいる
- ★ ワイルド・スワン



自己啓発

- ★ 心に効く「賢人のひと言」
- ★ 嫌われる勇氣
- ★ チーズはどこへ消えた?
- ★ 迷路の外には何がある?
- ★ 修身教授法



エッセイ

- ★ ハル2 哲学する犬からの伝言
- ★ 窓ぎわのトットちゃん
- ★ それでも僕は歩き続ける
- ★ 犬と猫どっちも飼っていると毎日たのしい



理系

- ★ Newton
- ★ エレガントな宇宙: 超ひも理論がすべてを解明する
- ★ 未確認生物UMA



漫画

- ★ 暗殺教室
- ★ ルックバック
- ★ ミステリと言う勿れ
- ★ ONE PIECE
- ★ 闇金ウシジマくん
- ★ ゴールデンカムイ
- ★ 名探偵コナン
- ★ GTO
- ★ サムライウさぎ
- ★ ハイキュー!!
- ★ 鬼滅の刃
- ★ SPY×FAMILY



児童書(絵本・童話)

- ★ おばけのてんぷら
- ★ アレクサンダーとぜんまいねずみ
- ★ おおきな木
- ★ パンダ銭湯
- ★ ドコカの国によこそ!
- ★ パンどろぼう
- ★ ムーク
- ★ なまえのないねこ
- ★ だいすき ぎゅっ ぎゅっ
- ★ いもむしのゴロゴロ



★印がついている本は、本学の図書館で貸し出しが可能です。

一般の方のご利用について

学外者利用を再開しております。
入館の際にはカウンターにてお手続きをお願いいたします。ご来館をお待ちしております。

開館日／平日 9:00～18:00(開講中)
9:00～17:00(休館中)

※土日祝日は休館いたします。
詳しくは、図書館のHPまたはInstagramからカレンダーをご覧ください。

新潟産業大学附属図書館 Tel.0257-24-8435 E-Mail: library@ada.nsu.ac.jp

新潟産業大学附属図書館

Instagram



ホームページ



「毎年、流木・アシ・プラスチック製品などの破片が流れ着き、強い風によって砂浜全体に広がる状態を繰り返している」という主催者の言葉の通り、作業範囲は大変広域でした。

5月11日(土)に柏崎市中央海岸で柏崎マリンスポーツ協会主催の海岸清掃活動が行われました。
本学からは、水球部やライフセービング部、陸上競技部などの運動部をはじめ、学友会、書道部など有志50人余が参加しました。
当日は天候に恵まれ、抜けるような青空のもと清掃活動が行われました。参加者からは「海のまち柏崎を市民の手で守っていく」という強い思いが感じられ、学生たちも、爽やかな海風を感じながら楽しそうに作業をしていました。

海岸清掃活動に参加しました

地域貢献活動レポート



波打ち際にあるこれらの破片や吸い殻などを回収し、軽トラに積み込むと、集約スペースは一時間ほどでゴミ袋が山積みとなりました。
今回の清掃活動で「風の陣」や「大花火大会」などのイベントや夏の海水浴シーズンを前に、美しい砂浜にすることができました。観光で訪れる多くの方々に柏崎が魅力ある町として印象に残るよう、今後も学生たちが先頭に立って活動することで地域振興に寄与できれば、本学にとっても幸いです。

社会課題解決型ハッカソンでアプリ作成



7月5日(金)～7日(日)に日本青年会議所主催「社会課題解決型ハッカソン in 柏崎」が開催されました。本学2～4年生11名が参加し、新潟工科大学の学生との混合チームで、ITを生かした地域の課題解決に取り組みました。「ハッカソン」とは「ハック」と「マラソン」を合わせた造語で、今回は柏崎市と刈羽村から提示された子育て、観光、農業といった地域課題に対して、3日間で集中してスマホアプリを開発、提案しました。
初日は猛暑の中、テーマ毎にフィードバックに向き、地域課題への理解を深めました。これを踏まえて2日目には、若者らしい独創的な視点でアイデアを固めていきました。中間発表ではアイデアを社会実装につなげるための手厳しいアドバイスをもらいましたが、各チームとも夜遅くまで粘り強く作業を進めました。

最終日の成果発表会では、一晩で見事にブラッシュアップさせた提案が続きましたが、本学の佐藤風紗さん(文化経済学科4年)、掛川航喜さん(経済経営学科2年)らが提案した「Yes!! match」が最優秀賞を受賞しました。農家の人手不足を解消するだけでなく、大学生のキャリア形成にも結び付く、等身大の提案が評価されました。
近年、動画制作やスマホ教室の講師など、学生の得意分野を生かした地域活動への期待が高まっています。今後はノーコードツールを活用して、文科系の学生でもできるアプリ開発による地域貢献の場面も増えてくるかもしれません。



通信だより

講義をはじめとする大学生活のすべてがフルオンラインで完結する「ネットの大学 managara (経済学部経済経営学科通信教育課程)」は開設より4年目を迎え、今年度初めての卒業生を送り出します。1200名を超える学生が全国各地でそれぞれのライフスタイルに合わせて学びを進めています。そんなmanagaraのトピックス、またどのように学びを進めているのかを中心に、managaraのキャンパスライフをご紹介します。

トピックス

オフライン交流会を実施

managaraでは、オンラインだけではなく、定期的にオフラインでの交流も実施しています。今年度は既に2回実施しており、第1回は5月に新潟産業大学内で開催。全国各地から学生たちが集まり、学生同士はもちろん、教職員との交流を楽しみました。また、開催当日はかしわさき風の陣と重なり、柏崎市ならではのイベントも見学することができました。

第2回は、6月に東京池袋の第一学院managara B A S Eで開催。明るく開放的な教室で交流を楽しみました。

オンラインだけでなく、オフラインでの交流も組み合わせたいハイブリッド形式で、managara生はキャンパスライフを送っています。



就職活動対策に「就活共通テスト」を導入

オンラインでの就職支援活動をより一層充実すべく、「AI面接官」とリアルタイムに面接練習が行える「就活共通テスト」のサービスを導入しました。昨今、企業でもAI面接官の導入が進んでいます。

導入ガイダンスでは、就活共通テストの活用の仕方はもちろん、就職活動における面接対策の重要性についても理解ができました。就職活動に今まさに力を入れている学生の皆さんも、これから就職活動を始める学生の皆さんも、最先端のシステムを活用し、就職活動に挑んでいます。

◆「就活共通テスト」とは…

「AI面接官」が事前に作成したES(エントリーシート)を元にカスタマイズされた質問を展開し、本番さながらに面接練習をすることができます。自分の強み、弱みを客観的に知ることができるシステムです。



managara Days続々更新中!

managaraで学ぶ学生の声をぜひご覧ください。様々な状況や想いを抱いて学ぶ学生たちのリアルな声に元気付けられます。



『目標』



【PROFILE】 サンチャッカル (二代目)

2005年に産大マスケットとして誕生。名前の由来は産大のサン、チャイカ(ロシア語でカモメ)のチャ、カルメギ(朝鮮語でカモメ)のカルを足したもの。

ボクのグッズができたよ!

ボクの新作グッズが完成! しかも2つも! これでボクも人気ゆるキャラの仲間入りちゃっかるね。

「サンチャッカルステッカー」

「柏崎愛」をステッカーに込めました。愛車に貼れば燃費向上、交通安全、無病息災、恋愛成就、夫婦円満間違いなし! (注:あくまでも個人の感想です)



「サンチャッカルクリアファイル」 オープンキャンパスに来校してくれた高校生に差し上げています。みんな、産大でボクと握手!

このコーナーではボクの似顔絵や励ましのお便りを募集してるちゃっかる。ご応募くださった方には、「サンチャッカルステッカー」をプレゼント! 宛先は「入試課サンチャッカル通信係」まで! 大学公式のXやインスタもチェックしてね!

新潟産業大学基金 ご支援のお願い

皆さまからの温かいご支援をお待ちしております。

新潟産業大学では、皆さまからの温かいご支援による学生の学ぶ環境の向上を目指しております。寄付金は3,200万円を目標額としており、老朽化が著しいマイクロバス入れ替えの購入資金や、本館トイレ改修工事費、学生ラウンジやA号館大教室(221、111教室)等のエアコン入れ替えに活用させていただきます。皆さまからの温かいご支援の一つひとつが教育を支える力となり、学生生活を豊かにすることに繋がります。ご支援に賛同いただける方は、下記のQRコードよりお手続きをお願いいたします。【寄付金のご応募は任意です】



平成21年購入
マイクロバス
走行距離
274,600km(10/2時点)
エアコン故障・修理不能



学生ラウンジ
A号館大教室
GHPエアコン
室外機故障



本館小教室
エアコン室外機故障

寄付金窓口
QRコード



ラジオ「CLUB CEO」に出演
managara生が、interfmのラジオ番組「CLUB CEO」に出演しました。この番組のコンセプトは「経営者とZ世代による『未来創造会議』」です。Z世代が経営者から生き方や仕事観などを学び、経営者はZ世代から今と未来を学びます。

Z世代代表として、そしてmanagara生代表として出演してくれた皆さんは、学んでいる経済・経営の知識を活かしながら、経営者の方々と堂々と話してくれました。これからの活躍に期待です。

過去のmanagara 生の出演は こちらから



オンラインでオープンキャンパスを開催しています。詳細はホームページをご覧ください。学生もオープンキャンパスの運営を担い、managaraならではの学生生活を未来の後輩に紹介しています。

お問い合わせ先「ネットの大学 managara 教育相談室」

Tel : 0120 (836) 047

E-mail : managara_nyushi@ada.nsu.ac.jp



INFORMATION

学生広報チームが SNSで情報発信!

ゼミや部活動、学内外のイベントなど、学生が日々取材に飛び回ります!

学生の視点から産大の魅力をXやInstagramで発信していますのでぜひご覧ください。



秋・冬もオンラインで オープンキャンパスを開催!

Zoomによるオンライン形式で開催します。高校生はもちろん保護者の方も大歓迎です。
皆さんの参加をお待ちしています!



2024年11/9(土)10:30~11:30

テーマ:全学年対象「入試直前!面接対策」

2024年12/7(土)10:30~11:30

テーマ:高校3年生対象「一般入試直前!受験対策」
:高校1・2年生対象「一足お先に産大をチェック!」



お申し込み・お問合せ

☎ 0120-787-124 (入試課)
nyushi@ada.nsu.ac.jp

お申し込みは
コチラ ➡



学事日程 (2024年10月~2025年3月)

月	日	行 事 等
10月	5日(土) 8日(火)~10日(木) 11日(金) 12日(土)~13日(日)	転学科試験 履修中止申請期間 紅葉祭準備日・休講日 紅葉祭
11月	4日(月) 21日(木) 27日(水)	祝日授業日 地域活性ゼミナール 卒業論文中間報告会(4年生) 地域活性ゼミナールガイダンス(2年生)
12月	7日(土) 24日(火) 30日(月)~1月3日(金)	就職活動集中対策講座(3年生) 学生冬季休業開始 年末年始窓口業務休業日
1月	10日(金) 17日(金) 23日(木) 28日(火)~30日(木) 31日(金)~2月6日(木)	授業開始 大学入学共通テスト前日準備日・休講日 地域理解ゼミナール合同発表会(2年生) 補講日 秋学期定期試験期間
2月	7日(金)・10日(月) 11日(火) 13日(木)~14日(金) 13日(木) 27日(木)	予備日 学生春季休業開始 追試験 企業研究セミナー(3年生) 卒業者発表
3月	3日(月) 6日(木) 15日(土)	再試験 卒業者発表 卒業式・学位授与式



表紙の写真「秋桜のおしゃべり」

撮影場所:佐渡見平コスモス畑(柏崎市笠島)

表紙の写真は、本学写真部の森山明佳さん(文化経済学科1年)の作品です。

暑かった夏の終わりを告げるかのように、笠島のコスモス畑は今年も満開を迎えました。

海風にそよぎながら思い思いに咲くコスモスたち。

入道雲を海に追いやって、あちこちでおしゃべりする声が聞こえてきそうです。



青海波(せいがいはい)

無限に広がる穏やかな波に未来永劫と平和な暮らしへの願いが込められた文様。

この文様の由来は遠くシルクロードまで遡るとされており、これを本学の校章(3つの波)に重ね合わせ、地域を知り世界を知ることの象徴として、本学の情報発信媒体である学報の名称に採用しました。

発行日/令和6年10月

編集・発行/新潟産業大学 新潟県柏崎市軽井川4730番地

TEL0257-24-6655 FAX0257-22-1300 <https://www.nsu.ac.jp/>